

大泉重吉 おほいずみ じゆうきち 小説家。明治二十七年七月二十七日長崎縣生れ、昭和二十二年十月二十六日歿（八十四歳）。本名清。筆名ツレキサンドル。ユクセキ、黒石生。父はロシア人。少年時代ロシア、歐洲で生活。長崎鎮西學院中學校卒業後、第二及び第一高等中學校中退。映画俳優大泉流おほいずみ りゅうの三男。

著書 露西亞『露西亞の馬車終禮』（大正八年五月十日磯部印刷堂）、『ルキー作の底』（譯、大正十年九月十五日東亞堂）、『露西亞文學史』（大正十一年二月二十八日大鏡閣）、創作『老子』（大正十一年六月二十日新光社）、『血と靈』（大正十二年七月十日春秋社）、

『人生見物』（大正十二年六月二十日紅玉堂書店）、『黒石怪奇物語集』（大正十四年二月二十日新作社）、『人間廢業』（大正十五年九月二十日文録社）、『眼を捜して歩く男』（昭和二年七月二十日騷人社書局「騷人文庫」）、『當世浮世大學』（昭和四年一月二十日現代エウミア全集刊行會「現代エウミア全集」）、『峡谷を探ぐる』（昭和四年七月二十八日春陽堂）、宮崎清成著『崎陽秘史集覽』（校閲、昭和五年八月十日青山堂書店）、『珍談奇談集』（合著、昭和八年十月十日日本雄辯會講談社「キング文庫」）、『山と峡谷、附温泉』（昭和九年七月五日浩文社）、『おらんざん』（昭和十六年十一月二十日大新社）、『山の人生』（昭和十七年五月五日大新社）、

『露西亞文學史』（昭和十七年九月二十日霞ヶ關書房）、『草の味』（本名、昭和十八年七月十日大新社）等。

